

材料分析研究コア分析電顕室の東北大 BCP レベル 3 ・金研「警報」体制への対応

2020/04/10

材料分析研究コア

コア長 今野豊彦

助手 長迫 実

新型コロナウイルス感染症対策として東北大 BCP レベル 3 が適用され、金研が「警報」体制へ移行するにあたり、分析電顕室では 4/13 より以下の対応を行う。

### 感染拡大防止のため

1. 卒業年度以外の学生の装置利用中止
2. 立会観察・トレーニング中止
3. 直接面談の原則中止
  - ┆ 依頼実験の受付、相談はメール等を使用
4. 同時在室の制限
  - ┆ 2000EX/002B/試料作製準備室の排他的使用
    - 複数利用者が同時に在室することがないように、いずれかの予約が入った日は他の装置の利用受付を停止します。
5. スタッフの出勤抑制
  - ┆ スタッフの交互出勤
  - ┆ 装置利用予定が無い場合はテレワークとする。
    - スケジュールの早期確定
    - 装置利用は前週までに予約する。直前の予約受付は中止。
  - ┆ スタッフの在室日は WEB サイト (<https://aem-www.imr.tohoku.ac.jp>) で通知

### 研究支援体制の維持のため

1. 立会観察希望者は依頼観察への切替を推奨
  - ┆ 書面で詳細な作業手順を指示してください。
2. リモート打ち合わせの実施（オンライン会議システムを使用）
  - ┆ 準備が済み次第案内します。
3. リモート立会観察の実施（オンライン会議システムを使用）
  - ┆ 準備が済み次第案内します。
4. 上級ユーザー（個別に許可された習熟度の高い教職員）は、スタッフ不在時も使用可とする。

上記は 2020/04/10 時点で決定している対応方針であり、今後の状況の変化に応じて随時更新される場合があります。最新情報は当室 WEB サイトで確認してください。